

---

## 「当院におけるロボット支援下 pectopexy 導入成績とロボット支援下仙骨腔固定術（RSC）との比較検討」 に関するお知らせ

---

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。  
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2021 年 12 月 1 日から 2025 年 11 月 20 日までに埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科で、ロボット支援下 pectopexy および、ロボット支援下仙骨腔固定術を行った患者さんが対象です。

#### 2. 研究の目的

当院では骨盤臓器脱に対する手術療法として、仙骨の前面にある前縦靱帯へメッシュを固定するロボット支援下仙骨腔固定術が一般的に行われています。しかし癒着など前縦靱帯への固定が困難な症例では、代替法として両側のクーパー靱帯にメッシュを固定する pectopexy が選択されることがあります。腹腔鏡下手術での比較では、pectopexy は仙骨腔固定術より手術時間が短く、術後の合併症や排便障害が少ないと報告がありますが、ロボット支援下手術に限定した比較研究は多くはないです。

本研究では、当院で行われたロボット支援下 pectopexy および、RSC の手術成績を比較し、両術式の有用性や安全性を明らかにすることを目的としています。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～ 2026 年 12 月 31 日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

2026 年 1 月 8 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科で、ロボット支援下 pectopexy および、ロボット

支援下仙骨腔固定術を行った患者さんの年齢、BMI、既往歴、分娩歴、POP-Q スコア、周術期成績（手術時間、コンソール時間、出血量、術後入院期間、術中及び術後合併症（術後の骨盤臓器脱再発含め））などの情報を用いています。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である宇佐美 拓哉が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

## 2. 試料・情報の取得方法

埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科で、ロボット支援下 pectopexy および、ロボット支援下仙骨腔固定術を行った患者さんの検査データや手術記録、診療記録等を用います。

## 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

### ・埼玉医科大学総合医療センター

総合周産期母子医療センター母体胎児部門	宇佐美 拓哉（研究責任者）
総合周産期母子医療センター母体胎児部門	柏原総一郎（共同研究者）
総合周産期母子医療センター母体胎児部門	宮澤祐樹（共同研究者）
総合周産期母子医療センター母体胎児部門	中村永信（共同研究者）
産婦人科	木崎雄一郎（共同研究者）
産婦人科	魚谷隆弘（共同研究者）
産婦人科	鮫島浩輝（共同研究者）
総合周産期母子医療センター母体胎児部門	成田達哉（共同研究者）
総合周産期母子医療センター母体胎児部門	松永茂剛（共同研究者）
産婦人科	高井 泰（共同研究者）

## 4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

### お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

### 埼玉医科大学総合医療センター

総合周産期母子医療センター母体胎児部門 助教 宇佐美 拓哉

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

電話：049-228-3681（土日祝日を除く 9:00～17:00）

メールアドレス：usamit@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：当院におけるロボット支援下 pectopexy 導入成績とロボット支援下仙骨腔固定術（RSC）との比較検討

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター

総合周産期母子医療センター母体胎児部門 助教 宇佐美 拓哉